

診断ひろしま

巻頭のことば（挨拶・祝辞）

TOPICS – 通常総会報告

実務補習受講報告／新入会員紹介



経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中小企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

www.hiro-smeca.jp

中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向に導くパートナーとして



会長 井上 明雄

令和4年度一般社団法人広島県中小企業診断協会総会において会長の選任を受けました井上明雄でございます。

新型コロナ禍、原油価格や原材料の高騰等の影響を受ける企業経営を支援する様々な施策の推進が急務となる中、広島県中小企業診断協会が担うべき使命と地域貢献の役割の重さを考える時、責任の重大さに身が引き締まる思いがいたします。

江川前会長におかれましては、各中小企業支援機関との連携強化等々、広島県中小企業診断協会の発展と改革にご尽力を賜りましたことに対し心より感謝と敬意を表します。江川前会長をはじめ歴代会長が築いてこられた伝統と実績を踏まえ、中小企業診断士の地域貢献度をより一層高めるため、精一杯努力してまいり所存でございます。

現在、ウクライナ問題や円安等による燃料や原材料費の高騰が、企業の事業活動のみならず、身近な市民生活にまで大きな影響を及ぼしています。

新型コロナについては、ウィズコロナの環境に対応する新たな事業展開やリベンジ消費の獲得に向けた積極的な動きも見られます。

このような経営環境変化への対応に加え、中小企業にも、その維持・存続・成長に向け、DX、カーボンニュートラル、SDGs、ESG、BCP・事業継続力強化、パーパス経営などの多様な取り組みを推進し、経営力を向上させていくことが求め

られています。

中小企業を支援する中小企業診断士には、これまで以上に新たな知識の習得、情報収集の強化、それらを活用した幅広い対応力を継続的に向上させていくことが必要となっています。

広島県中小企業診断協会は、「中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向に導くパートナーとして、中小企業の成長・発展、地域経済の振興に貢献する」ことを使命とし、会員の資質向上に向けた取り組み、支援事業の機会の創出と提供、中小企業支援施策や市場動向の情報発信等を通して、会員の円滑な活動の後方支援を推進していきます。

中小企業診断士の資質向上の取り組みとして、経営者との良い関係を構築する「コミュニケーション力」の向上を支援するための情報提供や研修事業を継続的に実施していきます。

また、様々な受託業務で必要となる診断報告書等の「作成能力」の向上を図り、中小企業及び中小企業支援機関のニーズに対して、的確かつ満足度の高いコンサルティングサービスを提供できるよう対応力を高めていきます。

地域経済の振興とともに、広島県中小企業診断協会の益々の発展に向け、会員の皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

自己変革力を高めるための伴走支援



中国経済産業局 産業部 中小企業課長 藤村 真琴

一般社団法人広島県中小企業診断協会及び会員の皆様方におかれましては、平素から経済産業行政の推進にあたりまして多大なる御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

これまで、国内における新型コロナウイルスの影響に加え、中国における新型コロナウイルス感染者拡大に伴う経済封鎖やロシアによるウクライナ侵攻などの影響を受け、資源・原材料不足に加え輸入資源価格高騰などの問題が押し寄せています。

経済産業省においては、これまで家賃支援金、月次支援金、事業復活支援金等前例のない給付金施策や、実質無利子・無担保融資による資金繰り支援などを通じて中小企業・小規模事業者の経営の下支えを行い、事業再構築補助金などにより生産性向上やアフターコロナに向けた新分野進出などの前向きな取組みを支援しているところ、6月7日には「経済財政運営と改革の基本方針 2022」が閣議決定されました。地域経済やコミュニティを支える中堅・中小企業の実産性向上等を推進し、その活力を向上させ、稼ぐ力の強化を図ってまいります。

さて、4月には2022年度版中小企業白書・小規模企業白書が公表されました。今回の白書は「事業者の自己変革」をテーマに掲げており、ウィズコロナ、アフターコロナの各フェーズにおいて、事業者にとって必要な取組を取り上げて

います。具体的には、短期・中長期のスパンで中堅企業への成長やサプライチェーンの中核的存在を目指す中小企業（スケールアップ型企業）と持続的成長を志向し、地域経済を支える小規模事業者（パワーアップ型企業）のそれぞれが新たな挑戦を行うために、事業再構築をはじめ、どのような取組が必要なのかについて分析しています。

また、両白書とも、中小企業・小規模事業者の事業継続や成長を支える基盤として、取引適正化やデジタル化、伴走支援に着目しています。中小企業の「自己変革力」を高めるための的確な課題設定を行う上で、中小企業が自ら対応することは困難であり、支援機関との対話による伴走支援が有効であることについて、事例などを用いて示しています。

したがって、自己変革を進める中小企業・小規模事業者にとって伴走支援の際には、中小企業診断士の役割が今後より一層重要になると考えております。広島県中小企業診断協会及び会員の皆様方におかれましては、困難に立ち向かい、将来に向けて果敢にチャレンジしようとする事業者に寄り添っていただきますようお願い申し上げますとともに、貴会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念いたします。

新年度の事業活動の推進に向けて



広島県 商工労働局 経営革新課 課長 渡邊 正治

広島県中小企業診断協会の令和4年度通常総会を滞りなく終えられ、役員改選による新たな体制で新年度の事業活動に取り組まれることを心からお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和34年の設立以来60年以上にわたり、国家資格である中小企業診断士相互の連携と資質の向上に努められ、本県の中小企業の発展や地域経済の振興に寄与されてこられました。また、一昨年から引き続きコロナ禍において、厳しい外部環境の中で業績悪化に苦慮する中小企業向けに地域の支援機関と連携して経営相談に対応されるなど、中小企業診断士の強みを生かした積極的な貢献を頂いておりますことに、厚くお礼を申し上げます。新年度においても、中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向に導くパートナーとして活躍されることを期待しております。

本県経済の動向については、景気の基調は、下押し圧力は残るものの、緩やかに持ち直しております。個人消費や設備投資が持ち直しつつあり、生産も供給制約の影響がみられるものの、全体としては持ち直しております。景気の先行きは、徐々に改善に向かうことが期待されますが、感染症や供給制約などが本県の経済情勢に与える影響を引き続き注視していく必要があります。こうした中、広島県では、新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、厳しい環境下から立ち上がろうとする県内企業の挑戦を後押しするため、アフターコロナを見据えた取組を行うとともに、新型コロナウイルスにより顕在化した構造的な課題への対応にも取り組みます。また、『安心▷誇り▷挑戦

ひろしまビジョン』で掲げている、イノベーション立県の実現に向け、広島県の有する強みを伸ばす取組や、事業者の挑戦を後押しする取組に、引き続き注力してまいります。

経営革新課においても、アフターコロナを見据えた社会・経済の発展的回復に向けた新たな取組として、商店街施設の維持管理を支援し商店街の活気を取り戻し来街者にとっての快適な環境を維持するとともに、県内の特産品等を展示販売する「ひろしま夢ぷらざ」の店舗改装や販売促進を支援し、出展者である小規模事業者の事業継続を図り、地域の活性化につなげてまいります。また、アフターコロナを見据え、経営革新に取り組む意欲的な事業者を支援するため、デジタル化を含む新事業展開を図るための設備投資、人材育成及び販路開拓に要する費用の一部を補助する「アフターコロナ対応経営革新推進補助事業」や「経営革新再チャレンジ応援補助事業」を創設いたしました。引き続き、中小企業の経営相談や計画策定への皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

中小企業診断士は、中小企業の経営課題に対応する身近な専門家として経営の診断や助言を行うだけでなく、中小企業と行政を繋ぐパイプ役として中小企業施策の適切な活用支援等の幅広い活躍を期待されております。貴協会におかれても、国の指定法人として中小企業診断士制度の更なる発展にご尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念いたします。

令和4年度通常総会 報告

総務委員長 田村 善光

令和4年5月21日（土）14時より広島県情報プラザ多目的ホールにおいて会場とリモート併用のハイブリッドで通常総会を開催した。
司会は西村専務理事が行い、4議案は承認可決された。

江川会長の総会開始にあたっての挨拶の後に、会場出席者23名、リモート出席者22名、表決権行使87名、合計132名で、総正会員及び名誉会員の総数191名の過半数を超え定足数を超えており総会が成立したことを確認した。

江川議長により総会が進行した。

まず、議事録署名人に木村義洋会員と黒川睦郎会員が指名された。

次に、江川会長が第1号議案の令和3年度事業報告を行い、令和3年度正味財産増減計算書・貸借対照表を谷本事務局長が説明した。監査報告を木村監事が説明し、第1号議案の承認を得た。

次に、第2号議案の令和4年度事業計画を井上副会長が説明した。令和4年度正味財産増減予算書を谷本事務局長が説明し、第2号議案の承認を得た。

次に、第3号議案の役員選任で、理事候補12名、監事候補2名を1名ずつ順に読み上げ承認を得た。

これをもって、令和4年度総会が終了し、直ちに臨時理事会を開催し、新理事の中から井上明雄会長、大村貞之副会長、岡佳弘副会長、小寺崇之副会長を全員一致で選出した。



会場とリモート併用の
ハイブリッドで開催
(広島県情報プラザ多目的ホール)

井上新会長から力強い挨拶の後、中小企業診断協会の表彰者として、西村英樹会員、宮前美方子会員、阿部眞治会員、岡本康昭会員、西原州康会員の5名が表彰され、広島県中小企業診断協会の表彰者として、江川雅典会員、西原州康会員の2名が表彰された。そして、会場に出席している西村英樹会員、宮前美方子会員、江川雅典会員の3名に井上会長から表彰状と記念品が授与された。

令和4年度 役員・委員名

役員	代表理事 / 会長	井上 明雄		
	副会長	大村 貞之	岡 佳弘	小寺 崇之
	理事	岩田 潤一	落野 洋一	金田 賢二
		上垣内 邦典	木村 義洋	黒川 睦郎
		田村 善光	古川 佐千夫	
監事	岩井屋 忠昭	松浦 由浩		

顧問	顧問	江川 雅典	岸本 実
----	----	-------	------

委員	委員会	委員長	副委員長	委員	
	総務委員会	田村 善光	渡辺 敏明	児玉 忠則	中尾 友和
				廣岡 雅史	松浦 和夫
	広報委員会	古川 佐千夫	本庄 恭子	青谷 智晃	三本木 至宏
				原 信之介	丸田 稔
	試験委員会	木村 義洋	松浦 由浩	岩井屋 忠昭	植田 昌子
				馬上 元彦	梅木 雄司
				藤原 貴徳	牧野 恵美子
				若井 匡弘	渡部 宗広
	診断実務委員会	落野 洋一		佐伯 昌之	野崎 義博
	更新研修委員会	金田 賢二	小地原 良樹	金河 哲也	塩田 睦大
				中岡 朗	藤川 裕志
				三宅 慶子	宮前 美方子
				森島 重樹	弓掛 元
会員研修委員会	上垣内 邦典	鼠家 正則	大島 季子	木村 武則	
			藤川 裕志	山口 卓	
グループ研究委員会	岩田 潤一	鉄本 一生	市岡 和美	伊藤 圭介	
			岡本 志朗	黒崎 崇貴	
			棚田 勇作	宮前 美方子	

事務局	事務局長	谷本 俊満	事務局主任	村戸 望佐
-----	------	-------	-------	-------

(R4.5.22 現在)

中小企業経営者・
中小企業支援機関ご担当者さまへ

広島県中小企業診断協会 「グループ研究会」へ のご依頼・ご相談承り中！

研究分野の専門性を活かした

経営
診断

助言

セミ
ナー

研修
会

ISO 研究会

販路開拓 研究会

建設業 研究会

資金繰り表 研究会

原価管理 研究会

事業承継 研究会

企業再生実践 研究会

当協会のグループ研究会では、研究分野の専門性を活かした経営の診断や助言をはじめ、セミナー・研修会等を随時実施しております。

協会ホームページ上にグループ研究会へ直接連絡可能な「ご依頼・ご相談窓口」を設置しておりますので、お気軽にお問合せください。

www.hiro-smeca.jp

一般社団法人
広島県中小企業診断協会

ホーム 協会について コンプライアンス 会員の皆様へ 入会のご案内 グループ研究会 刊行物 関係リンク アクセス
問い合わせ 賛助活動（研究会、委員会を除く） グループ研究会へのご依頼・ご相談 プライバシーポリシー

経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします

経営者・支援機関さまへ

グループ研究会へのご依頼・ご相談
研究分野の専門性を活かした
支援・セミナー等を実施します

各研究会の研究内容・支援内容
についてはこちらをクリック！

(注) 報酬その他要件は、研究会「ご依頼・ご相談窓口」へ直接メールでお問合せください。

なお、ご依頼・ご相談にかかる一切の行為について、一般社団法人広島県中小企業診断協会は、何ら責任を負うものではありませんので予めご了承ください。

令和3年度 冬季実務補習 5日間コース 第2班 受講報告



実務補習受講生：上村 紀子、岡部 聡、高野 光司、
三浦 友裕、三草 宏樹、有間 光（文責）

1. はじめに

令和4年2月4日から2月14日まで、佐伯昌之先生のご指導のもと、金融機関勤務、製造業勤務等と様々な業種で働くメンバー6名で実務補

習に取り組みました。実務補習経験者が1名、他はみな初めての実務補習でした。

2. 診断先企業の概要

診断先企業の業種は、「その他の水産食料品製造業」であり、新社長就任後、経営改革に取り組みられ近年の業績は好調でした。一方、主力製品の

市場規模が縮小傾向にあるため、主力製品の高付加価値化や主力製品以外の売上拡大などを図っていくことが必要な状況でした。

3. 実務補習の状況

実務補習1日目から最終日の5日目までの状況については次のような流れでした。

1日目は、①診断先企業へのヒアリング事項の班内調整、②診断先企業へのヒアリング、③診断先企業の今後の方向性の決定を行いました。事前に割り振られた担当（経営戦略、財務会計など）ごとに社長にヒアリングをしましたが、筆者はヒアリング内容の精査ができず、持ち時間を超えて聞いてしまい後続の方の時間を奪ってしまったことが反省点です。やはり限られた時間では優先順位をつけて、タイムマネジメントすることが大切だと痛感しました。

診断先企業の今後の方向性は、ヒアリング内容と業界の情報等によるSWOT分析を行い決定しました。

2日目は、各担当での課題とその課題解決策の方向性についてメンバーで意見を出し合いながら決定しました。2日目までに、各担当の解決策まで決めることが、2日目～3日目の間に各自で作成する報告書をスムーズに書けるかの分岐点になるので非常に重要です。

3日目が始めるまでの間に担当ごとの報告書をそれぞれの担当が作成し、先生にチェックをいただき、完成度を高めました。時にはメンバーでチャットツールを用い、議論を重ね、報告書をより良いものになるように努めました。この報告書づくりは筆者含め深夜に及んだメンバーもいました。なんとかメンバー全員が先生からのご指摘を修正した状態で3日目を迎えることができました。

3日目は、メンバー全員で各担当の報告書の内容をチェックし、表現方法の統一などを行い、報告書の質を高めました。3日目を迎えるまでの頑張りのおかげで大枠の修正はなくスムーズに作業が進みました。

4日目は、社長等にお渡しする原稿の印刷をした後、5日目に行う報告会のプレゼンテーションの練習をしました。筆者は、報告書の原稿をそのまま読むことが多く、また、緊張のあまり自分で

何を言っているのかわからない状態になってしまいました。このままではせっかく作った内容が社長に全く伝わらないと焦ったため、ホテルで練習を重ねました。

5日目は、診断先企業に赴き報告会を実施しました。メンバー皆が前日の反省点を踏まえ報告をしたおかげで、我々の提案の内容が鮮明に伝わり、社長から非常にためになる提案だった旨のお言葉をいただきました。

4. 実務補習後の所感

筆者は班長という役割を担いましたが、その中で重要だと感じたスキルがファシリテーションスキルです。班長として会議の進行をしましたが、うまく進行できずメンバーの皆さんに助けをいただきました。もう少し自分にその能力があれば、より活発な意見を出し合え、皆さんの素晴らしい意見を活かせたと感じました。

また、プレゼンテーションスキルの大切さを

実感しました。我々の提案に対しやりたい気持ちを抱いてもらわなければ実行に移してもらえません。そのためには、シンプルでわかりやすい説明が非常に重要だと感じました。普段の業務では、プレゼンテーションをすることがないため、緊張しましたが非常に良い経験となりました。

5. 御礼

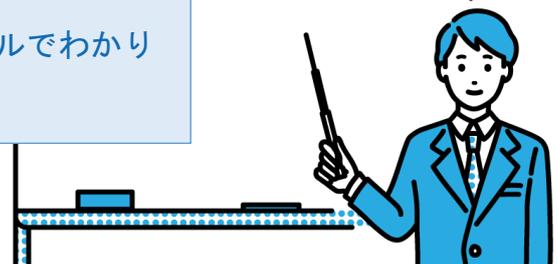
診断先企業様、佐伯先生、一般社団法人広島県中小企業診断協会の皆様には、私たちの実務補習のためにご尽力くださりましてありがとうございました。また、メンバーの皆さんにおきましては、班長として頼りない面もあったと思いま

すが、皆さんのフォローにより無事報告会を終えることができました。ありがとうございました。

今後は、今回得た知識と経験を生かし社会に貢献いたします。

「その他の水産食料品製造業」の企業に対し、市場規模が縮小傾向にある主力製品の高付加価値化や主力製品以外の売上拡大などを提案しました

提案を実行に移してもらうためには、シンプルでわかりやすい説明が非常に重要だと感じました



令和3年度 冬季実務補習 5日間コース 第7班 受講報告



実務補習受講生：河中 康行、原田 涼平、齊喜 康博（文責）

1. はじめに

令和4年2月4日から14日まで、大村貞之先生の指導のもと、運輸交通グループ企業勤務、機械装置メーカー勤務、個人事業のEC販売、製薬会社のMRなど多彩なメンバーにて実務補習に取り組んだ。受講開始直前で1人キャンセルとなったため4人での受講となった。ここで人事労務担当の班員が、財務主体で担当することとな

った。負担も大きい中2科目をやり遂げていただいた班員には改めて感謝申し上げたい。4人共福山と岡山在住であるため、福山開催は移動時間が短くて済み、非常に助かった。また福山での受講は我々の班のみだったため、集中して議論や作業ができたという利点もあった。班長の私が2回目、他のメンバーは初回の参加であった。

2. 診断先企業の概要

診断先企業は福山市内の製造業で、5年前に新社長が就任して以来業績は堅調に推移していた。社長のリーダーシップ、専務の営業力、高品質、短納期対応、良好な財務内容などを強みとし、主

要取引先の自動車業界と堅固な関係を築いていた。家業から企業へ進化する過程で、社長自身が今後の方向性を思案している状況にあった。

3. 現状の課題

現状、診断先企業が更なる成長を遂げるにあたっての大きな課題としては、①組織体制の整

備と人手不足の克服、②自動車業界のEV化への対応、③生産性の向上、などが挙げられた。

4. 実務補習の状況（1、2日目）

研修初日にヒアリングのポイントなどを確認した上で診断企業を訪問し、社長より企業の説明をしていただいてからヒアリングを実施した。工場内も詳しく案内していただき、2次試験の勉強でよく出てくるNC加工機の実物が稼働する様子などを拝見させていただいた。はじめは慎重に様子をうかがっていたメンバーも途中からは皆様々な事項を積極的に質問した。

会議室に戻ってからは班員で診断先企業のSWOT分析やクロスSWOT分析、診断チャートの

作成、各科目の方向性の検討などを実施した。班長で唯一2回目の受講である私は、後のことが気になって早くまとめようということに意識が行っていたのに対し、よくそんなところまで気づくと思わせるほど広く多面的に物事をとらえられる班員、また、微妙な言葉のニュアンスなどを的確に判断し正確な表現で文章を作ってくれる班員もいて非常に有意義な話し合いになった。私のような人間だけだったら雑な報告になっていたと思うし、私がいなかったら後半の作

業が詰まってしまっていて大変になっただろうと思うのでバランスの良いメンバーだった。そして方向性が決まり、自主学習期間に入った。

自主学習期間にも情報交換を行いながら各自

の報告書を作成した。皆日常業務を抱えながらの短期間での作成でありながら、非常によく調べ、素晴らしい報告書を作成していった。

5. 実務補習の状況（3～5日目）

3日目のメンバー再会の直前に大きなハプニングが起きた。生産技術担当の班員が体調不良のため3日目以降の参加ができなくなり、無念のリタイアとなってしまった。素晴らしい報告書を仕上げただけに本当に残念であり、本人もさぞかし無念だったと思う。

3日目4日目は文章の体裁チェックや目次などの作成、プレゼンのリハーサルを行った。私がWordのインデントやスタイル、目次作成の機能の使い方などを勉強したものの理解が進まず困っていたが、班員の1人が調べてくれてすぐに理解し、目次の作成をしてくれたので非常に助かった。実務補習では報告書の内容もそうだが、編集などをスムーズに行う能力も求められるので本当に幸運だった。プレゼンのリハーサルでは普段の業務で教育研修を行っている班員の話し方のうまさに驚かされた。

いよいよ報告の日。3人で緊張しながら診断先企業へ向かった。社長は3人の5科目、長時間にわたるプレゼンをものすごく集中して聞いてくださった。そして多くのことを調べて立派な報告書を作ったことに感謝していただいた。報告後、厳しくてもいいから社長の忌憚のない感

想をいただきたいと思い、班長の私から各提言に対する感想を聞かせてほしいと依頼し、回答していただいた。ここで感想をしっかりと聞かせていただいたことは非常に有意義であった。まず、かなり自信を持って出していた提案が意外と受けがよくなかったり、少し地味な提案が相手によく刺さっていたりと事前の予想と異なる部分が多かったこと。もう1つは、求めているのは自分の会社にぴったりの分析・提案でなくてはならなかったこと。この2つが分かったことがよかった。社長に対しては同様の業種、同様の問題を抱えている会社を参考例とした提案では不十分で、想定していたよりもかなり精度の高い提案を求められていた。事前のヒアリングの段階で社長の話を理解するのに精一杯な部分があり、期待されている提案と自分たちが作れそうな報告書の内容をすり合わせる事が出来ていなかったと痛感した。これは実務として診断業務を行う上でとても重要なことだと実感した。社長「良い提案ありがとう。」、メンバー「良かった、良かった。」で終わるよりも多くを学べたと思う。

6. 御礼

この度の実務補習では、大村先生には大変お世話になった。実務補習での様々な的確なアドバイスをいただいただけでなく、診断士としての日常の実務や心構えなども教えていただいた。お陰様で久しぶりの福山開催、予定より2人も減るというイレギュラーな状況下でも円滑に進めることができた。また、メンバーの自主性を極

力尊重し、見守っていただけたのは大きな成長につながったと思う。

多忙な業務の中で実務補習にご協力いただいた診断先企業の方々、協会の皆さま、拙い班長のもとでも立派な報告書を仕上げただけだった班員の方々に深く感謝申し上げたい。

同業他社の参考例だけでなく、診断先企業の細かい状況や課題にぴったり合った精度の高い分析・提案を求められていることを学ぶことができました



随筆・見聞録

今年の備後の国・福山は、アツい！

中小企業診断士 益野 実



大普請が8月に終わる福山城、開運で有名な良神社、バットマンの市内巡回などにご注目

みなさんは、福山と言えば何をイメージされるでしょうか。定番の「ばらのまち」「鞆の浦」でしょうか。「ヒロシマ」のような全国区ではない福山は、尾道と倉敷の間にある街と説明すると、特に東の方では理解していただけることが多いです。（あくまでも著者の個人的意見です。）

私は安芸の国・竹原で生まれ育ち、社会人になって備後の国・福山に移り住みました。途中二度の武蔵の国・東京への参勤交代を除くと、福山での暮らしが人生の半分を越えました。第二のふるさとへの郷土愛をこめて福山をご紹介します。

福山城は、新幹線のホームから天守閣が日本一近くに見える城です。それもそのはず、かつての内堀の上に駅があり、地名も丸の内です。今年は初代藩主水野勝成公が築城して400年になります。終戦直前の空襲で伏見櫓・筋鉄御門・鐘櫓を除いて焼失し、現在の天守閣は昭和41年に再建されたものです。同い年なので妙に親近感があります。現在は築城400年を記念して「令和の大普請」中です。8月に工事が終わり、築城当時に近いカッコイイ姿を見せてくれます。



駅と反対側の北面から見た福山城（6月撮影）

福山城の鬼門（丑寅（北東）の方角）を守護する良（うしとら）神社があります。全国区（TBS系列）の某テレビ番組で「2022年一番オススメの開運神社」と紹介されたことから、休日には多くの参拝客が訪れ、付近は車で大渋滞します。



良神社の大鳥居（参拝客が少ない6月撮影）

福山市の市章はコウモリの姿です。ネットで検索してください。由来は諸説あるようですが、今回はそれには触れないことにします。

市章が映画「バットマン」のマークに似ていることから、映画の舞台ゴッサム・シティ（架空の都市）と友好都市提携しました。そして、バットマン（等身大？のフィギュア）が福山市内を巡回出動中です。福山駅にも出動していました。著作権の制限で写真は掲載できませんので、ネットで「福山 バットマン」と検索してご覧ください。

ご紹介した観光スポットだけでなく、福山市、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、岡山県笠岡市と井原市の6市2町からなる備後圏域には、ユニークな中小企業も多いです。魅力溢れる備後の国・福山もぜひご注目ください。

アツい「フクヤマ」を発見してみませんか。

書評

中小企業診断士
青谷 智晃



テクノロジーの世界経済史 -ビル・ゲイツのパラドックス

著者：カール・B・フレイ

出版社：日経 BP 社

発行日：2020/9/18

価格：3,520 円（税込）

技術の進歩とそれに伴う仕事の喪失の問題は、なにも今にはじまった話ではなく、近代に入ってから人類が何度も繰り返し直面してきた問題である。技術の進歩で社会がどう変わり私達はどうか対応していくべきか、冷静に分析した必読書。

数年前、「AI の普及によって、仕事の約半分が失われる」と結論づけた論文が話題になった。本書の著者フレイ氏は、その論文の共著者の 1 人である。当時この結論だけを聞きかじっていた私は、うまい煽り文句を考える人もいるものだ、とやや冷めた感想を持った記憶があるが、全くもってごめんなさいである。この人、そんな浅はかな人ではなかった。

AI が社会に与える影響を考えるにあたって、フレイ氏は本書で膨大な過去の歴史的資料を丁寧に紐解いていく。そして、技術の進歩とそれに伴う仕事の喪失の問題は、なにも今にはじまった話ではなく、近代に入ってから人類が何度も繰り返し直面してきた問題であることを明らかにする。フレイ氏が取り上げるのは、①産業革命期のイギリス、②20 世紀前半を中心とするアメリカ、③1980 年代以降のアメリカの 3 つの変革期だ。

①産業革命期のイギリスでは、機械の導入で多くの手工業者が仕事を失って過酷な生活に追い込まれ、労働者階級の貧窮は 3 世代にわたって続くことになった。これに対し、②大量生産期を迎えた 20 世紀前半のアメリカでは、新たな生産技術が次々と導入されるが、これに伴って新たな仕事も増え、結果として皆の所得が増えて

豊かな中流階級が形成されていく。しかし、③1980 年代以降、コンピュータ革命により、豊かな中流階級を支えていた仕事が次々となくなり、中流階級が没落して所得格差が拡大し、現在、分断のアメリカ、ポピュリズムの台頭という懸念すべき状況となっている、というのがフレイ氏の見立てである。そして、①②③の結果の違いの要因や人々の対応の違いの要因が何であったかを多角的に検討していく。

その上で現在の④AI の導入による自動化の時代に足を踏み入れた私達にこれから何が起こるかを予測する。果たして、②の時のように皆が幸せになるのか、①③の時のようにかえって多くの落伍者が生まれるのか。フレイ氏は、徒に不安を煽ることなく、技術の進歩で社会がどう変わり、私達はどうか対応していくべきか、さらに真摯に議論を深めていく。

歴史的な視点に加えて、政治学の視点、経済学の視点、経営学の視点、技術的視点と、まさに博覧強記というべき知性をもって、技術の進歩が人類に与えてきた影響と今後の動向を冷静に分析していくフレイ氏の手腕は見事という他ない。

AI と未来をじっくりと考えたい人には、必読の書である。

診断士リレー訪問記



ほんじょう きょうこ
中小企業診断士 本庄 恭子



いわさき みゆき
中小企業診断士 岩崎 美友紀 氏



今回は中小企業診断士・1級販売士・社会保険労務士の資格を持ち、予備校講師や創業サポート、資格啓発活動など幅広く活躍されている岩崎さんをご紹介します。3児の母としてパワフルに活動されている様子や、今後のビジョンについてお伺いしました。



「人生をハンドリングするためには、資格が大きな武器になる」と実感しており、ライフワークのひとつとして資格取得の啓発活動をしています。今は社会福祉士の勉強をしており、今後は診断士を含めた4つの資格や自身の経験を活かして、幅広い方々をサポートしていきたいと思っています。

Q：25歳の時に診断士に合格されたそうですが、目指したきっかけは何ですか？他の資格取得の経緯も教えてください。

A：私は滋賀県出身なのですが、大学進学で広島に来て、そのまま県内の電気機器メーカーに就職しました。その就職の役員面接の時に「入社したら、中小企業診断士の勉強をしてほしい」と勧められたのがきっかけです。入社して1年目のボーナスで資格予備校に入校し、2年かけて合格しました。受験2年目の2次試験の時は第1子を妊娠中で、出産や子育てがあったので、診断士登録は1年半後でした。第2子の育休中に1級販売士に合格し、その後、第2子の保育園に落ちたことから、やむを得ず会社を退職しました。同じ年に社会保険労務士の資格を取得しました。今は第3子となる生後7か月の娘もおり、3児のシングルマザーとして仕事と育児の両立は大変ではありますが、やりがいを感じる日々を過ごしています。現在は正社員として企業に在籍しており、企業内診断士です。副業はOKなので、診断士としても活動を続けています。

Q：結婚・出産・育児といったライフイベントと

同時に次々と資格取得を進められたんですね。今、どのようなお仕事をされているのか教えてください。

A：大手資格予備校や、商工会議所・商工会主催の創業セミナー、社員研修等で講師を務めています。予備校主催の診断士の実務従事の企画・運営も行っています。また、大学生が立ち上げたベンチャー企業や一般社団法人で、前職の総務や人事・労務業務の経験、中小企業診断士としてのコンサル経験を活かして事務全般や営業同行なども行っています。他に、女性・若者起業家の伴走支援や各種補助金の申請書作成支援、それからライフワークとして、資格取得啓発の出前授業を高校生や大学生に行っています。また、販売士に関しては、日本販売士協会の広報委員としても活動しています。

Q：多岐にわたるご活躍ですね。診断士の資格を取ったことで、何か変化はありましたか？

A：周りの自分を見る目も変わりましたし、診断士の方々は向上心のある方ばかりで、つきあう方が変わったことで色々な吸収ができ、自分の



世界が広がりました。資格を取ってきて思うのは「資格を持っていたら、キャリアをハンドリングできる」ということです。コントロール（支配）ではなく、主体的に考えて実行するという意味でハンドリングという言葉を使っています。自分の状況や外部環境が変わっても、資格があるとそれらに合わせて軌道修正がしやすくなります。学生や女性、何がやりたいかわからないという方にも資格を持つことで世界が広げられると、資格啓発を行っています。私自身も、これまで将来の夢や目標が漠然としていて何がやりたいか分からず、流される形で資格を取得してきました。私にとっては、資格がキャリアの道標になった部分があります。それぞれが自分自身の人生を、自分でハンドリングしていけるようにと願っています。

Q: ご自身の強みや活かしていこうと思うことは何ですか？

A: 創業セミナー等で、女性の方や若い方に相談しやすいとよく言われます。若い女性は年上の男性には相談しにくいこともあるようで、特に子育てしながらの起業の相談などは私の経験を活かしたアドバイスができます。また、1級販売士としての専門家目線と、母親・消費者目線といった複数の視点からマーケティングを支援できることも強みです。

Q: 支援の際に大切にしていることは何ですか？

A: 学生の支援をしていると「ええっ？何それ？」と面食らう話を聞くこともありますが、否定をせず、相手の夢をしっかりと聴くようにしています。その年代の価値観を吸収しようという気持ちで受け止めて支援を行うようにしています。

Q: 今後やりたいことはありますか？

A: 女性の起業のハードルを下げるサポートがしたいと思っています。収入の不安定さや、子育ての不安、扶養枠を理由に踏み切れない方も多いです。また、若い起業家の若者の感性を使った販売促進の支援もしたいです。

Q: 子育て中の女性や、仕事との両立に不安を感

じている方へのアドバイスがあれば教えてください。

A: 育休中は孤独感を感じて、これで良いのだろうかと悩むこともあると思いますが、復帰を見据えたタイムマネジメントや資格取得の勉強を行うなど、今できることに取り組むと良いと思います。私の場合は、仕事が息抜きになっていました。個人の価値観によって仕事と育児の比重は変わってきますが、試行錯誤しながら最適なバランスを見つけてほしいです。また、様々な支援制度があるので、キャリアの継続を最後まで諦めないでほしいです。

Q: 趣味やマイブームはありますか？

A: 今年が本厄なこともあって、神社巡りをしています。出張の際に余裕があれば娘達も連れて行きます。先日、出雲大社に行きましたが自然に癒されました。また、本屋が好きで、色々なジャンルの本の表紙を見ながら夢を膨らませるのがストレス解消になっています。

Q: 今後の活動のビジョンや方向性、夢など思い描いていらっしゃることを教えてください。

A: 私は気付いたら常に動き続けているタイプなので、自分を回遊魚だと思っているのですが、第3子出産後もう1つ資格を取ろうと思い、今は社会福祉士の勉強をしていて、11月以降に施設実習に行きます。診断士は生産性や効率性を重視し、社会保険労務士は働く人を助けますが、そこにさらに福祉の視点を加えて、幅広い様々な方のサポートをしていきたいと思っています。

これまで今までやってきたことを昇華させる形で資格を取得してきました。大学の経済学部で学んだことを活かして診断士と販売士の資格を取り、人事労務の仕事の経験を活かして社会保険労務士の資格を取りました。シングルマザーとしてこれから経験していくことを、社会福祉士という資格に昇華させたいです。この4つの資格を活かして、私にしかできないサポートや支援活動をしていくことで、さらなるレベルアップを図りたいです。

プライベートでは、子供の手が離れたら、のんびり世界一周クルーズに行くのが目標です。

新 入 会 員 紹 介

正 会 員

小野 将太 (おの しょうた)



この度、広島県中小企業診断協会に入会しました小野将太と申します。中小企業診断士は、2015年度に試験合格、2017年度に登録しております。

出身は(牛タンで有名な)宮城県仙台市、その後上京し、人材系の法人営業職として従事しておりました。クライアントには中小企業の経営層が多く、接する中で人材以外にも課題は多様化していて、より視座高く中小企業支援をしたいと思い、中小企業診断士を取得した後、東京都の政策連携団体の中小企業支援機関に転職しました。こちらでは、「海外展開、知的財産」に係

る中小企業支援を行っており、ここで学んだノウハウを活かして次はプレイヤーとして中小企業をスケールさせたいと考え、2021年12月よりITスタートアップ企業の経営企画として広島支社に転職し、人生初の広島県に足を踏み入れました。

広島県に来て、ひろしまユニコーン10などを始め行政機関の支援施策が手厚く、行政を中心に広島を盛り上げていこう、という一体感・パワーを非常に感じております。広島県にあるスタートアップ企業の一員として、また中小企業診断士として、微力ながら広島県が盛り上げる活動をしたいと考えておりますので、是非ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

正 会 員

鈴木 裕太 (すずき ゆうた)



はじめまして、おそらく協会内最年少、28歳の鈴木裕太と申します。令和4年5月に中小企業診断士に登録し、広島県中小企業診断協会に入会させていただきました。

現在は、ウェブ制作やウェブマーケティングの仕事を行うかたわら、2020年に設立した「一般社団法人日本ポテトサラダ協会」にて、ポテトサラダの魅力を発信する活動を行っております。

中小企業診断士の資格取得を目指し始めたのは、社会人1年目の終わり頃でした。広島市内の制作会社でウェブディレクターとして勤務しており、案件の中で中小企業の経営者様と関わることが多くありました。その中で「成果の出るウェブサイトを作るためには、ウェブの知識だけではなく、会社経営全般の知識が必要なのは？」と考えるようになりました。ちょうどその頃に、職場の先輩から中小企業診断士という資格があると教えていただき、これだ！と思いきうちに勉強を開始しました。想像よりも合格の道

は険しく、1次試験を3回、2次試験を3回受験し、この度ようやく合格し、中小企業診断士に登録することができました。

これからは、「ウェブに強い中小企業診断士」

として、中小企業のウェブ活用推進に貢献できるように精進してまいります。

若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

正会員

立石 賀彦（たていし よしひこ）



立石賀彦と申します。平成25年に診断士登録し広島県協会で企業内診断士として活動していましたが、東京への転勤に伴い平成29年度からは東京都協会城西支部で活動しておりました。

この度、転勤で5年半ぶりに広島に戻ったことから、今後は広島県協会でも活動させていただきたく、皆様よろしくお願い申し上げます。

私の勤務先はいわゆるゼネコンです。東京ではグループ会社を指導・管理する仕事を2年半担当し、その後グループ会社（建築設備系の施工会社）に3年間出向しました。グループ会社の

大半は中小企業であり、いろいろな業態のビジネスモデルを知ることができたことは診断士としてありがたい経験でした。また出向した子会社では企業買収、買収会社のPMIから合併まで担当し、診断士としての幅を広げる貴重な機会となりました。

現在は出向から戻り、会社の中国支店で人事・総務の担当をしています。私は診断士になってから人材育成について関心を持ち続けており、今後も現在の職務及び広島県協会でも研鑽を重ね、「人」に関する提案力を磨いていきたいと考えております。皆様ご指導のほどよろしくお願いいたします。

特別会員

田中 健太郎（たなか けんたろう）



令和4年6月に広島県診断協会の特別会員に登録した田中健太郎です。中小企業診断士試験は令和2年度合格、中小企業診断士の登録は令和4年4月にされました。

現在、広島信用金庫に勤務しており、支店で融資業務全般に携わっていますが、長く携わったのは、支店での条件変更先の対応や不良債権管理・回収業務、本部での債権回収やバルクセルの担当業務です。

これまで担当した返済が難しくなるお客様には、破産等の法的手続きを取る、行方不明や音信

不通になる、あるいは居直る方もいる一方で、少数ですが少しずつでも払うと言われる方もおられました。

しかし、完済する見通しがなければ、時間が経つうちに、子供は進学、親は介護、自分は年をとって病気を患う、と余裕は無くなるのに、負債は減らないままとなりがちで、そうなると対応する方もつらいのです。

そういった状況を回避するためには、企業がなんとしても生き残る手段を確保しておくこと。もし無理だと判断したなら進退窮まる前に撤退することが必要だと思います。

中小零細企業の抱える問題は様々で、目指す姿すら描けていない企業もありますが、生き残ることが何より大切です。

大きな変化が続く中で、残念ながら市場から退場せざるを得ない企業もありますが、企業が雇用を守りながら存続していくこと、地域が活力を維持して発展するための方策を常に考えていきたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

正会員

濱上 敬介 (はまがみ けいすけ)



この度、広島県中小企業診断協会に入会いたしました、濱上敬介と申します。鹿児島県出身で、大学卒業後の就職を機に広島へやってまいりました。鉄道会社にてメンテナンス工場での

管理業務やダイヤ策定業務等、貴重な経験を積ませていただき、4年前に長年の夢であったボードゲームカフェを広島市にて開業し、個人事業主として歩み出しました。当時は広島市内唯一のお店で物珍しさもあり、順調に推移していましたが、2年前より新型コロナウイルスの影響が直撃し、事業運営の難しさを痛感しました。その

ような中で、今一度経営について体系的に学びたいという動機のもと、中小企業診断士の資格学習・取得に至りました。

これまで事業者としてお世話になっていた立場でしたが、今後は支援者として、悩みを抱えている事業者の方々のお力になりたいと強く思っています。未熟者でございますが、診断協会の活動にも積極的に参加させていただき、先輩の先生方から多くを学ばせていただきたいと考えております。何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。またボードゲームにご興味のある方は、おすすめのゲームをご紹介しますのでぜひお声がけください。

正会員

本田 慎治 (ほんだ しんじ)



令和4年5月に中小企業診断士に登録し、広島県中小企業診断協会に入会いたしました、本田慎治(ほんだしんじ)と申します。前職は某家電メーカーにて法人営業を12

年、企画開発を2年程経験しました。営業時代は家電量販店やホームセンターを主に担当し、売場の Gondra 単位や商品分類、地域性、顧客単位等多面的に分析を行い、売上、粗利が最大化する商品構成となるよう提案を行ってきました。机上の分析も好きでしたが、現場も好きで、店頭に行きその場で売場を変更したり、来店されるお客様から直接情報収集し、担当する法人にフ

ィードバックする等、常に売れる売場作りの事を考えていました。現在は旧くからの友人に誘われ会社の役員をしております。

この資格を取得することとなったきっかけは、前職で業界最大手を担当していたこともあり、もっと多くの業界、会社を見てみたいと思い、中小企業と関わりの深い中小企業診断士を目指しました。

得意な業界は小売業、卸売業となりますが、積極的に多くの業界で企業支援ができればと考えております。中小企業診断士の先生方はとても優しい方が多いと決めつけております。優しい諸先輩から吸収させて頂き更なるスキルアップを図っていきたく思いますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

正会員

吉富 久美子 (よしどみ くみこ)



はじめまして、2022年2月に登録し、3月より広島県中小企業診断協会に入会しました吉富久美子と申します。4歳から18歳まで廿日市市で過ごし、昨年20年ぶりに広島

へ戻ってきました。

現在は ODA (政府開発援助) 事業に応札・受注し、開発途上国において中小企業振興や起業支援等を政策及び現場レベルで推進するコンサルティング会社に勤めながら、兼業で診断士の活

動をしています。以前には、アパレル・雑貨貿易の企画営業や、ODA 事業の民間企業との連携促進業務等を経験しました。仕事を通じて、経営全般についての知見を深めたいと考えたことが資格取得のきっかけです。

これまでも様々な立場で中小企業の経営者の方々とお仕事をする機会がありました。しかし、ほんの数カ月ですが広島県内の事業者様へ経営ご支援をさせていただき、これまでになく近い距離感で事業者様とお話ができることに、地域の中小企業診断士の意義と可能性を感じています。

広島県協会の皆様から学びながら、故郷の事業者様や社会に少しでも多くお役に立つことを

目標に活動していきたいと思います。ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

正会員

吉原 伸二（よしはら しんじ）



皆さん、こんにちは。4月に東京都中小企業診断士協会から移籍した吉原伸二と申します。IT企業に30数年勤務する中、転勤先である東京で早期退職を決意し、広島に戻ってきました。IT

企業では、システムエンジニアを経て、コンサル営業を長年経験してきました。このため、顧客に向けた One To One 提案や営業マネジメントは得意領域となります。

また、中小企業診断士になってからは、創業や売上拡大支援の他、知的資産経営報告書に基づいた経営改善、経営デザインシート作成、補助金支援を進めてきました。実際にコンサル活動を行う中で、顧客の課題やニーズは非常に多様に渡り、IT企業の営業時代とも異なる対応が必要

な事、診断士に求められる知識や経験の更なる深さが必要な事を多く学びました。おかげで多くの勉強や修練の場を得られたと感じております。

昨年後半から広島に戻って、独立診断士として活動しております。地方創生や経営デザインシート作成支援も東京時代の案件を継続しておりますが、まだ広島を基盤とした活動にまでするには、時間を要しそうです。一方で広島県中小企業診断協会の皆様と直接お会い出来た方は一部に留まっています。今後は皆様との F2F の交流を深め、一緒に支援活動を実施出来れば一番の幸せでございます。是非互いの得意領域を活かし、顧客のニーズに応えられるよう活動を広げていきたい所存です。近いうちにお会い出来たら、覚えて頂けるよう、皆様の心に留めて頂けるよう、宜しくお願いします。

New Member



よろしく願い致します

事務所レポート

地方発！グローバル化支援の独立診断士

東南アジア事業アドバイザー・中小企業診断士 棚田 勇作



昨年 2021 年の 1 月から福山市で独立診断士として活動している棚田です。

中小企業診断士の資格は 2018 年当時、タイに駐在していた際、試験のたびに一

時帰国の手配に苦勞しつつ取得いたしました。勤めていた電機メーカーにて海外新事業の立ち上げに取り組んでいるなか、ビジネスマンとしてスキルを高める必要性を感じたことが資格挑戦のきっかけでした。

資格取得からほどなく 2019 年に帰国し、福山に住むことになりました。私も妻も出身は関西なのですが、瀬戸内地域がとても気に入りました。転職の辞令におびえることなく定住するため、こちらでの独立の道を選びました。また、地方でグローバル化を支援する独立診断士が少ないと感じたことも独立の大きな理由でした。

独立後の数カ月、営業活動に注力していましたが、なかなか仕事につながらず、地縁のない独立だし海外事業専門だし、やはり厳しいかな、など感じていました。そんな中でも、地域の診断士の方々と研究会などで繋がりをもたせてもらったことが大変心強く、あまり焦ることなく過ごさせてもらいました。この場を借りて、あらためて事業承継研究会のみなさまには感謝申し上げます。

しばらくすると旧職の同僚や地域の診断士の方々から仕事の紹介をいただき、独立から 1 年半が過ぎた現在、多忙な毎日を送っております。

コロナ禍におけるリモート文化の進展が、受注確保の大きな追い風となりました。都心の企業向けの仕事や海外顧客とのすり合わせなど、通信さえあれば全く問題なく対応でき、地方にいる私にとって大変ありがたい環境です。

今年に入ってから徐々に行動制限が解除されつつあり、何度か海外出張したところ、さほど不便を感じることはありませんでした。フライトはビジネス客でいっばいで、海外展開の機運が高まってきていると感じます。これからも地方発グローバル化支援の独立診断士として、地域の企業を中心とした活動を続けていきたいと考えています。

また、独立してみたら特に、中小企業診断士という資格の知名度をもっと向上させられたらと強く感じました。診断士資格のをご存じない経営者の方々に多く出会ったためです。

資格取得後にすぐ立ち上げたタイ中小企業診断士会では、参加国数とメンバー数が増え、今年 7 月からは東南アジア中小企業診断士会に改称し、現在 46 名が登録しております。私は現在もこの会の事務局を務め、参加メンバーの知識、能力、ネットワークをさらに高める活動をしています。経営者の方が海外展開を相談するときには診断士を選んでもらい、ひいては診断士の知名度向上につながるような組織を目指しております。

まだまだ独立診断士として新米ではありますが、地方×海外×診断士でチャレンジを続けてまいります。



新コーナー

みんなで地元応援！

おすすめのお店紹介 ～支援の現場より～ vol.1

広島市南区大州 / 食肉卸・小売業

株式会社 高松商店

今、話題の「広島キングポーク」をぜひ一度ご賞味ください！

中小企業診断士 本庄 恭子

広島市南区大州にある、歴史ある食肉卸の高松商店。新型コロナウイルスの流行によりホテルや飲食店への取引が激減したことや仕入価格の高騰を受けて業績が悪化。公的支援施策により、2021年3月に中小企業診断士の金田賢二先生が支援を開始し、その後、販促支援として私に加わり、民民の伴走型支援を行っています。経営の改善提案、補助金・支援金活用、資金調達、販促など総合的な支援を提供。一人で活動することが多い中小企業診断士が、チーム型で支援している珍しい事例です。

食肉卸業だけでは利益の確保が難しいと判断し、事業再構築補助金を活用して、去年11月より小売を始めています。コロナ禍の長期化により卸売業の売上が中々回復しない中、なんとか頑張っている企業です。

卸のお肉は鮮度や品質が高く、近隣住民の方からも好評です。特に近隣他店では売っていない「広島キングポーク」はテレビでも取材されるなど、非常に美味しく珍しい目玉商品です。夏バテ対策としても、ビタミンやたんぱく質が豊富なお肉をしっかりと食べて頂き、皆様の健康を応援したいと日々元気に営業しています。土曜日も営業していますので、お気軽にお立ち寄りください。ギフト商品も取り扱っていますので、“相手を労わる贈り物”として、ぜひ高松商店のこだわり肉ギフトをお選びください。

(定休：水・日・祝、営業時間：10時～18時)

人気の
こだわり
肉ギフト



会社名 株式会社 高松商店
業種 食肉卸・小売業
資本金 10,000千円
社員数 12名(役員含む)
所在地 広島市南区大州 2-9-4
連絡先 082-282-8040
URL <https://takamatsushouten.com/>



信頼の
マルタカ
マーク

おすすめ
ポイント

- ・60年以上の歴史を持ち、高級ホテル・料亭御用達で信頼性が高い
- ・広島牛や広島キングポークなど、特徴ある稀少商品の取り扱いがある
- ・国産牛肉がお買い得
- ・LINEクーポン発行など積極的に販促を行っている



施策や取組など	課題	目指す姿	施策	支援のポイント
	売上減少による経営の悪化・借入金が増大。加工スペースがない。	環境に左右されにくい安定した収益体制を構築し企業を存続させる。抜本的な変革により利益率を高める。	補助金を活用した新規販売チャネル構築(実店舗・ECサイト)による売上増加、リスクの分散化を図る。	資金調達を支援しつつ、新規事業を開始。店舗のコンセプトを「お肉でお客様の健康を応援する」として、管理栄養士監修レシピ等、チラシに特色を持たせた。ホームページやSNS(Instagram・LINE)を活用し継続的な顧客との接点づくりを行っている。

企業内診断士診断能力向上研究会

研究会広報担当 黒崎 崇貴

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）では、

- ・ 企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）
- ・ 中小企業経営の改善・革新の支援（貢献）
- ・ 診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）



を目的として、活動に取り組んでいる。

会員数については、12年目を迎える今年度は、35名（7月時点）となっている。

今年度の活動計画は、毎月第3土曜日に月例会合を開催し、会員それぞれがグループ研究、個人研究を行い、発表を行っていく（月例会合は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から、当面、Webオンライン形式で開催している）。

また、会員からの紹介や協会本部の「企業内診断士におけるプロボノ活動の支援に向けた実証実験事業」等による実務診断にも積極的に取り組んでいく（協会本部の実証実験事業は3件実施済である）。

なお、例年は、理論政策更新研修後に当研究会会員以外の方にもご参加いただける交流会を開催しているが、7月については、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を会員に限定したWebオンライン形式で、愛知県協会の「企業内診断士の会」とのオンライン情報交換会を行う予定である。



ニューロビジネス研究会

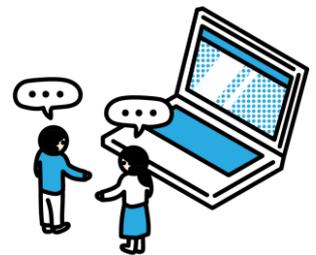
代表 西村 英樹

当研究会は診断協会会員だけではなく、AI、IoT、ロボティクス等（以下 DX 技術）に関心を持つ中小企業経営者（ユーザ、ベンダー）もメンバーに加え、中小製造業が抱える経営課題を DX により解決することを目的に調査研究を行っている。



実証実験が中心であった DX 技術であるが、国内外メーカーの参入等により安価で実用的なサービス・製品も普及し始めており、デジタル化の進展や人手不足の解消手段、経営者の世代交代等により中小製造業の現場において DX 技術の実装が急速に進むと想定される。一方、カーボンニュートラルに対する取組みやウクライナ紛争に端を発したエネルギー・鉱物資源、食糧等の不足に対する懸念も新たな経営課題として浮上している。

当研究会においては、中小製造業における DX 技術の実装事例の調査研究だけでなく、これら先端技術と親和性の高いカーボンニュートラルに対する取組みや DX 技術の農業への転等についても関係諸機関と連携し調査研究を行う予定である。



ここ 2 年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い毎月の研究会はリモート開催となっているが、感染状況を注視しながらフィールドワークも進めて行きたい。

カープを科学する研究会

代表 西村 英樹

活動目的

中小企業診断士の立場から独自の歩みを進めるカープ球団を科学的に研究し、ファンを魅了し応援し
たくなる秘密に迫る。研究成果は地域における中小企業経営支援等に役立てて行く。

主な活動実績

- (1) プロ野球選手等のデュアルキャリア支援
元プロ野球選手へのインタビューを実施：
カープ1名、DeNA1名
- (2) 野球中継を見ながらの戦力分析
ドラフト予測も含めシーズン中に適宜実施
- (3) 個人研究
 - ・「SNSによる情報発信」、「キャリア開発」
等について随時実施
 - ・「アスリートキャリア開発支援が創出する
CX (Career Transformation) の未来」
伊藤会員
- (4) 情報発信
メンバーのTwitter等で適宜発信
- (5) その他
カープ球団訪問：松田一宏オーナー代行との
面談実施

活動計画

- (1) 個人研究
会員がそれぞれ関心を有するテーマにつ
いて調査研究を行い、その結果を研究会で発
表する。テーマによっては、グループ研究も
行う事とする。
- (2) 全体研究
プロ野球選手等のデュアルキャリア支援、
野球中継を見ながらの戦力分析等
- (3) 情報発信
研究成果は、診断協会内で共有するととも
に外部に対しても HP 等により積極的に情報
発信を行う。
- (4) 会合場所等
会合は毎月1回広島市内、福山市にて実施
予定。
新型コロナウイルス感染拡大中はリモートにて実
施する。

研究会メンバー

伊藤 圭介	江川 雅典	大村 貞之	木村 武則
佐伯 隆	塩田 睦大	西村 英樹	古川 佐千夫
藤川 裕志	牧野 恵美子	森島 重樹	綿谷 伸二
渡辺 敏明			

リスクマネジメント研究会

代表 三村 雅彦

「研究会ってすごい」。これが私の感想です。理由を3つ記載します。



理由①

メンバーは10名。診断士を中心としつつも、行政機関、弁護士、損害保険会社メンバーなどバラエティに富んでいて、異業種交流会のようです。研究会の名前がなければ、(コロナ禍のため懇親会の開催なしにも関わらず・・・) これだけのメンバーが月1回集まることはないでしょう。

理由②

研究会が主体となって、2021年3月に広島市でサイバーセキュリティやBCPに関するセミナーをオンラインで開催しました。約70名を集客できました。



理由③

研究会の名前があっこそ、前述のセミナーで行政機関や東京協会の研究会とのコラボレーションが実現できています。

研究会を設立し2年目となりました。広島の中企業のみなさんに様々な「リスク」を伝え、その対応方法を一緒に考えていくことを目的としています。今年度は対面でのセミナーを企画しています。一緒に汗をかいてくれる方、お待ちしております。

令和4年 研究成果発表会



2022年9月3日(土) 13:30~16:30

広島県情報プラザ 視聴覚研修室(広島市中区千田町3丁目7番47号)

- WEB (Zoom ウェビナー) 同時配信
- リモート参加できます

リモート参加希望者には、後日メールにて詳細をご連絡いたします。

- 予定は変更する場合があります。最新情報は広島県協会ホームページで随時公表いたします。
- 新型コロナウイルス(COVID-19)の感染対策を行っております。ご協力をよろしくお願い致します。
- セミナー当日は必ずマスクを着用して下さい。発熱・咳等の症状が見られる場合は、出席をご遠慮下さい。
- 受講者配布用資料と映写資料は異なることがあります。予めご了承ください。

13:30~ 開会挨拶(会長)

—— 【成果発表】 ——

13:40~ ISO研究会

14:25~ 原価管理研究会

15:15~ 事業承継研究会

— 【新規研究会紹介】 —

16:00~ 知的資産経営研究会

16:25~ 閉会挨拶

ISO研究会

栗山 琢次

事業計画の運用におけるISOプロセスアプローチの活用

ISOプロセスアプローチで、最も適切な状態を確立するために、各プロセスの順序や相互関係、相互依存性を整理することができます。事業計画の運用におけるISOプロセスアプローチの活用について考察します。

原価管理研究会

野崎 義博

原価管理の現状と課題

中小建設業を中心とした原価管理導入実績を基に、原価管理の現状と課題について発表します。

事業承継研究会

三原 孝義

すでに株式、事業用資産が分散している場合の対処法

現社長の祖父の逝去時、6人の息子が平等に相続し株式と事業用資産が分散。社長の父も叔父達と仲が悪く調整できないまま他界した。現社長にとり経営と次の承継に課題のある事例について、総合的な対応策を紹介します。

知的資産経営研究会

森島 重樹

企業競争力の源泉となる人材、技術ノウハウ、組織力、ネットワーク、ブランド等の見えざる資産を把握して活用することで、企業の価値向上と持続的成長に結びつける「知的資産経営」を研究する研究会を紹介します。

【申し込み締切】 8月19日(金)

ご参加を希望される方はメールにて、事務局までお申し込みください。



広島県中小企業診断協会 事務局
グループ研究発表会申込窓口宛

✉ jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp

【メール記載項目】

出席者氏名、診断士番号、
電話番号、メールアドレス、
参加方法(会場またはWEB)

グループ研究会の詳細は協会ホームページで ⇒ <https://www.hiro-smeca.jp/>

総務委員会

総務委員長 田村 善光

1. 活動方針と委員会体制

総務委員会は、当協会の円滑な運営への寄与を活動方針とする。委員長に田村善光、副委員長に渡辺敏明、委員に中尾友和、児玉忠則、松浦和夫、廣岡雅史の6名体制で活動する。



2. 活動計画

総務委員会では、以下の活動を行う。

- (1) 総会及び理事会の企画・運営
 - ・ 通常総会（場所：広島県情報プラザ）
5月21日ハイブリッド開催実施
 - ・ 理事会
4月17日リモート開催実施
8月28日開催予定
11月、2月開催予定
- (2) 広島自由業団体連絡協議会
 - 今年度は、広島県不動産鑑定士協会、日本公認会計士協会中国会と当協会が担当。
 - 第1回 7月26日（予定）
 - 第2回 未定
- (3) よろず相談会
 - 11月8日（火）実施予定
 - 場所は広島市役所講堂で、土業12団体が参加予定。但し、緊急事態／蔓延防止のときは中止あり。
- (4) 無料ビジネス相談会
 - 広島市立中央図書館、福山市中央図書館で月1回開催。各図書館に事前申し込みのあった相談者に対して当協会員が対応。
- (5) 中国ブロック連絡会議・勉強会
 - 11月18日（火）予定
 - リモートかリアルかは未定であるが、リアルの場合は島根県で開催。本部と中国5県の診断士会との交流を図る。
 - 勉強会は中国5県診断士会の勉強会であるが、開催日は未定。
- (6) 創業相談会
 - 日本政策金融公庫及び当協会を含む8団体による創業支援無料相談会であるが、今年度の実施は未定。
- (7) 会員交流会
 - 当協会の会員同士の親睦を図ることを目的としているが、今年度はコロナの状況を勘案して交流会実施を開催する予定である。
- (8) その他総務事項の推進

広報委員会

広報委員長 古川 佐千夫

1. 委員会メンバー

令和4年度の広報委員会は、委員長に古川佐千夫、副委員長に本庄恭子、委員に青谷智晃、三本木至宏、原信之介、丸田稔の合計6名の体制で遂行する。



2. 活動内容

広報委員会は、中小企業診断士の認知度向上および中小企業診断士の能力向上のために県協会が行う活動を支援することを目的とし、次の活動を行う計画である。

(1) 協会広報誌「診断ひろしま」の発行

診断ひろしまでは、協会・各委員会・研究会の計画や活動の紹介、スキルアップメニュー（診断助言事例、実務従事報告等）や診断士コミュニティ（随筆見聞録、書籍出版紹介、診断士リレー訪問記、新入会員紹介、事務所レポート）等を掲載する。本年度は、8月（本号）と1月の2回の発行を計画している。



(2) 広報活動の推進

協会の活動および取り組みについて、会員や各関係機関等に広く周知を図るため、その他広報活動を行う。具体的な活動内容については今後の委員会にて話し合いを行い決定していく。

試験委員会

試験委員長 木村 義洋

試験委員会は、後述する委員会メンバーが活動方針に基づき、広島地区で実施する中小企業診断士第一次試験、第二次試験（筆記・口述）の計画の立案、運營業務を協会事務局と協力しながら実施する。



1. 委員会メンバー

委員長	木村 義洋	委員	岩井屋 忠昭、植田 昌子、馬上 元彦、梅木 雄司、藤原 貴徳、牧野 恵美子、若井 匡弘、渡部 宗広
副委員長	松浦 由浩		

2. 活動方針

- (1) 中小企業診断士試験受験者が試験会場で本来の実力を発揮できるようにするため、『安心・安全・快適な受験環境づくり』と『不正防止の徹底』に全力で取り組む。
- (2) 広島県中小企業診断協会が質の高い試験事業を継続して実施できるようにするため、『試験業務の改善』と『試験監督者・試験運営員の育成』に継続して取り組む。

3. 令和4年度中小企業診断士試験日程

(1) 第一次試験	令和4年8月6日・7日（土・日）
(2) 第二次試験（筆記）	令和4年10月30日（日）
(3) 第二次試験（口述）	令和5年1月22日（日）

協会会員の皆様には、今後とも、広島地区で実施する中小企業診断士試験の運営に試験監督者・試験運営員としてのご協力をお願いしたい。

診断実務委員会

診断実務委員長 落野 洋一

今年度の診断実務委員会は以下の内容で活動する。

- ①中小企業診断士の登録要件である実務補習
- ②登録更新に必要な実務従事ポイント取得のための実務従事

今年度も実務補習・実務従事の指導員登録者の増員・育成を重点事項として取り組んで行く。また、実務補習を他地区（広島市・福山市以外）で開催することについても検討をおこなう。



委員長	落野 洋一	委員	野崎 義博、佐伯 昌之
-----	-------	----	-------------

令和4年度中小企業診断士 実務補習

1. 夏季コース（5日間コースのみ）：RCC文化センター、まなびの館ローズコム等

第1回：令和4年7月8日（金）～7月19日（火）
 第2回：令和4年9月9日（金）～9月20日（火）

2. 冬季コース（15日間コース・5日間コース）：RCC文化センター他

第1回：令和5年2月3日（金）～2月13日（月）
 第2回：令和5年2月17日（金）～2月27日（月）
 第3回：令和5年3月3日（金）～3月13日（月）

令和4年度中小企業診断士 実務従事

10月、または11月の1回実施を予定

更新研修委員会

更新研修委員長 金田 賢二

1. 委員会体制

令和3年度の更新研修委員会は、委員長に金田賢二、副委員長に小地原良樹、委員に金河哲成、塩田睦大、中岡朗、藤川裕志、三宅慶子、宮前美方子、森島重樹、弓掛元の合計10名の体制で遂行する。



2. 活動内容

更新研修委員会は、中小企業診断士の登録に必要な5年ごとの「知識の補充要件」の更新要件を満たす研修の実施を目的としている。受講者の要望を汲み取り、時世にあった研修を開催できるよう、会場や講師など運営に携わる内容、委員会の協議により決定し、協会事務局と協力しながら運営・実施していく。

今年度も引き続き、国や県の方針に基づき、新型コロナウイルスへの対策を講じながら、安心していただける研修の実施を目指す。第4回はリモート環境で開催する。

3. 本年度の理論政策更新研修の予定

本年度は、4回の研修を予定している。

第1回	令和4年7月23日(土)	13:00 ~ 17:40 (定員 140人) 「新しい中小企業施策について」	広島県情報プラザ 多目的ホール 広島市中区千田町 3-7-47
第2回	令和4年7月24日(日)	「中小企業の事業承継支援について」	
第3回	令和3年11月12日(土)	13:00 ~ 17:40 (定員 100人) 「新しい中小企業施策について」 「中小企業の事業継続支援について」	福山商工会議所 福山市西町2-10-1
第4回	令和4年12月10日(土)	13:00 ~ 17:40 (定員 50人) 「新しい中小企業施策について」 「中小企業のデジタル化支援について」	リモート開催

インターネットでの受講申し込みについては下記を参照ください。

「理論政策更新研修ネット申込の手順」

<https://www.j-smeca.jp/attach/rironkenshu/mousikomitejun.pdf>

会員研修委員会

会員研修委員長 上垣内 邦典

1. 委員会メンバー

令和4年度の会員研修委員会は、下記の計6名体制で遂行する。

委員長	上垣内 邦典	委員	大島 季子、木村 武則、 藤川 裕志、山口 卓
副委員長	鼠家 正則		



2. 活動内容

会員研修委員会は、協会員診断士のスキルアップを目的として、会員研修を企画・開催する。

会員研修および委員会は、新型コロナウイルス対策および参加者のスケジュール自由度確保のため、本年度も Zoom を用いたリモート形式で行うこととする。

3. 本年度の会員研修の予定

本年度は、3回の会員研修を予定している。研修内容は、「企業内診断士向け」を2回、「独立診断士向け」を1回という配分で実施する予定である。

第1回会員研修	令和4年8~9月頃
第2回会員研修	令和4年11~12月頃
第3回会員研修	令和5年3月頃

また、各回の会員研修に先立って会員研修委員会を開催する予定である。

グループ研究委員会

グループ研究委員長 岩田 潤一

当協会のグループ研究会は、現在、14グループが、企業診断や中小企業支援事業等に係る技術・能力の向上に取り組んでいる。

グループ研究委員会では、研究会相互の連携を図るとともに、新規研究会の設立を促進することにより、研究会活動の活性化を目指す。また、研究成果を広く発信することにより、会員相互の研修の場を提供し、当協会会員増加に貢献していく。



1. 新規研究会の設立促進

新規研究会の設立に向け、研究会メンバー募集等の支援を行う。

2. 研究会活動のPR

研究会活動PR小冊子の掲載情報を更新し、協会HPで公開するとともに、様々な機会を捉えPRを実施する。

また、協会HP上に研究会の「相談受付窓口」を引き続き設置し、支援機関や中小企業等に対しPRを実施する。

3. グループ研究会連絡会議

研究会相互の連携を図るとともに、研究会活動活性化に向けた諸課題を議論するため、各研究会代表による連絡会議を開催する〔令和5年2月4日開催予定〕。

4. 調査研究活動補助費の支給

研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会設立意欲を高めるため、グループ研究会の活動にかかる費用の一部を補助する。

5. 研究活動成果発表会

会員相互の研鑽の場を提供するとともに、研究会参加を契機とした協会への新規入会を促進するため、研究成果を中心とした発表会を開催する。

〔成果発表会開催概要〕

日時：令和4年9月3日(土)13:30~16:30
場所：広島県情報プラザ 視聴覚研修室
(WEB同時配信)

発表研究会

- ・ISO研究会（成果発表）
- ・原価管理研究会（成果発表）
- ・事業承継研究会（成果発表）
- ・知的資産経営研究会（活動紹介）

6. 論文等の公開

研究成果に関する論文について、随時協会HP上で公開する。

また、協会本部「令和4年度調査研究事業」、「令和4年度企業内診断士におけるプロボノ活動実証実験事業」への積極的な応募を促す。

令和4年度 年間主要行事日程

日 付	行 事
4月17日(日)	第1回 理事会 (Zoom開催)
5月21日(土)	通常総会
7月8日(金)～19日(月)	夏期実務補習① (5日間)
7月23日(土)24日(日)	第1回、第2回 理論政策更新研修 (広島会場)
8月6日(土)7日(日)	中小企業診断士 第1次試験
8月28日(日)	第2回 理事会 (Zoom開催)
(8～9月)未定	第1回 会員研修
9月3日(土)	グループ研究会 研究成果発表会
9月9日(金)～20日(火)	夏期実務補習② (5日間)
10月30日(日)	中小企業診断士 第2次試験 (筆記試験)
11月(未定)	第3回 理事会
11月12日(土)	第3回 理論政策更新研修 (福山会場)
(11～12月)未定	第2回 会員研修
12月10日(土)	第4回 理論政策更新研修 (リモート開催)
1月22日(日)	中小企業診断士 第2次試験 (口述試験)
2月3日(金)～13日(月)	冬期実務補習① (15日間・5日間)
2月(未定)	第4回 理事会
2月17日(金)～27日(月)	冬期実務補習② (15日間)
3月頃(未定)	第3回 会員研修
3月3日(金)～13日(月)	冬期実務補習③ (15日間)

事務局からのお知らせ

1. コンプライアンス研修受講のご案内 (正会員の方へ)

正会員の方は本部マイページよりコンプライアンス研修を受講してください。受講方法が不明な方は、県協会ホームページをご参照ください。

● 県協会ホームページ>コンプライアンス>コンプライアンス研修

<https://www.hiro-smeca.jp/コンプライアンス/コンプライアンス研修/>

中小企業診断士にはコンプライアンスの遵守が強く求められています。未受講の方は必ず受講してください。また事業受託の必須条件としております。

2. 専門家登録の案内および情報更新のお願い (正会員の方へ)

広島県中小企業診断協会では各支援機関より様々な中小企業支援事業を受託しております。受託した案件については、正会員の中で専門家登録をさせていただいている方に、随時依頼または公募を行っております。まだ専門家登録をされていない方は是非と登録していただき、大いに活躍して頂きますようお願いいたします。

また、すでに登録されている専門家の方は登録内容に変更のあった場合(経年数の更新を含む)には、随時更新していただきますようお願いいたします。

登録手順につきましては、事務局 (jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp) まで直接ご請求ください。

編集後記

広報誌発行にあたりご協力下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

本号は新年度号として今年度より新たに本協会の会長に就任された井上会長より今後の県協会の運営等に関する抱負について語っていただき、5月に行われた通常総会の報告、各委員会の年度計画報告等を中心に編集を行いました。

2020年初頭に発生した新型コロナ禍がまだ収束を迎えていない中で、2月24日にはロシアによるウクライナ侵攻が始まるという思いもよらぬ激変に世界は戸惑いと不安に包まれています。新型コロナ禍がもたらせた「ニューノーマル」という価値観、ウクライナ侵攻がもたらせた「権威主義と民主主義」という新たな世界秩序。「ニューノーマル」時代での生活様式や働き方の変化、ウクライナ侵攻の影響下で進む円安と燃料価格や原材料費の高騰。中小企業は激変する環境への適応を強いられています。

そんな中でも8月6日はやってきます。世界中から「ヒロシマ」に多くの想いが寄せられる一日です。来年はG7広島開催も決定しました。何故、「ヒロシマ」は多くの人々の心に留まり続けるのでしょうか。それは「生きる」という本質を考えざるを得ないからではないでしょうか。本質や原点は激変の時代だからこそ輝きを増すのではないのでしょうか。自社の原点を見つめ直して「コアコンピタンス」を磨き上げる会社は環境の変化を前向きに捉えて乗り越えていく力を持っています。私たち中小企業診断士も原点を見つめ直す時期なのかもしれません。「何故、中小企業診断士になろうと思ったのか」、「資格を得てどんな役に立ちたいと考えたのか」、そのことが迷える中小企業に寄り添う私たちの大きな指針となるのではと感じています。

本年度も皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

広報委員長 古川 佐千夫



表紙写真「平和に捧げる千羽鶴」 撮影：小寺 崇之

平和記念公園にある「原爆の子の像」は別名「千羽鶴の塔」とも呼ばれ、国内外の人々により平和を願い折られた千羽鶴が捧げられています。

一般社団法人広島県中小企業診断協会会報 第87号

発行：令和4年8月1日（年2回発行）

発行人：会長 井上 明雄 編集人：広報委員長 古川 佐千夫

会員数

220名

令和4年7月時点
正会員・準会員・特別会員
含む。休会員は含まない

記事やお知らせ募集中！お気軽にご連絡ください



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

Hiroshima Small and Medium Enterprise Management Consultant Association

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号 広島県情報プラザ3階

TEL：(082) 569-7338 FAX：(082) 569-7336

E-mail: jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp

www.hiro-smeca.jp

「診断ひろしま」の
バックナンバー公開中

